

東京都が運営する水族館、葛西臨海水族園が、そのシンボリックな存在である「空の広場 ガラスドーム」の照明を、LED にリニューアル。6500K の LED フラッドライトにより、海と噴水池に囲まれたガラスドームが、東京の空に鮮やかに浮かび上がりました。

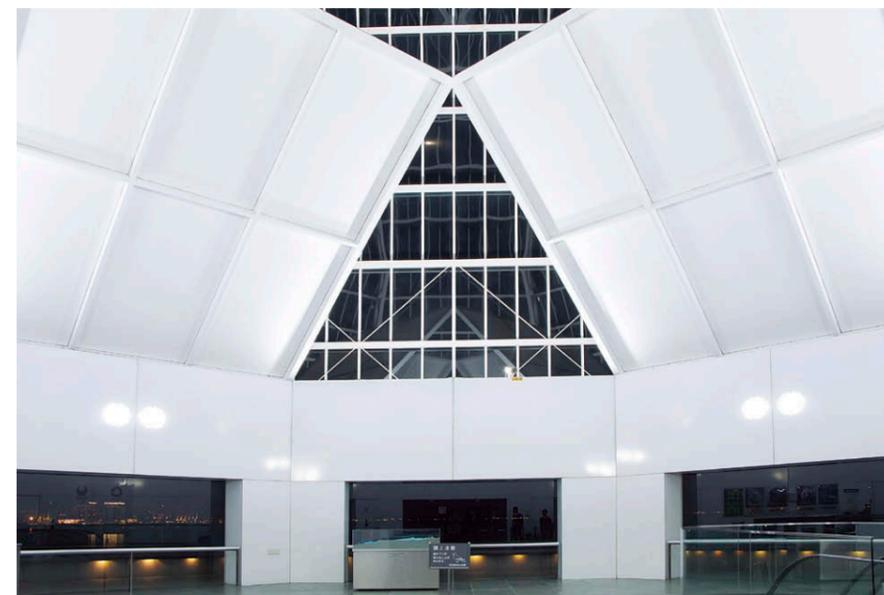
東京都江戸川区の葛西臨海公園内に位置する、葛西臨海水族園は、建築家谷口吉生の設計。マグロ類が回遊するドーナツ型の大型水槽など数多くの展示施設を備え、1989年の開園以来、東日本有数の水族館として人気を博しています。また、国際的にも広く知られ、1996年には、第4回世界水族館会議の主催施設に、2018年には、第10回世界水族館会議のプレイベント会場に選ばれ、世界40カ国以上、700名以上の参加者を美しいガラスドームが出迎えました。



【物件概要】
所在地：東京都江戸川区臨海町 6-2-3
ガラスドーム床面積：560 m²
ガラスドーム高さ：地上 30.7m
施主：公益財団法人 東京動物園協会 葛西臨海水族園
施工：㈱小林電機商会
照明リニューアル完成：2018 年 11 月



正面入り口から望む ガラスドームの美しい造形と内部の白色パネルを照らす① LED フラッドライト。



ガラスドーム内部 円形窓の内部に配置された① LED フラッドライトにより対面のパネルを照射。

水族館のエントランスに「水の惑星」「海」を感じさせる光。6500K の LED フラッドライト。

空の広場、噴水池の中央で存在感を放つ、地上 30.7 m のガラスドームは、8 角形の床面からガラス面が美しい弧を描いて空中の一点に収束するデザイン。ドームの中央には葛西臨海水族園のエントランスとなるエスカレーターが配置され、来館者に、光に満ちた天空から海中への旅をスタートさせるかのような高揚感を与えます。

LED 照明器具は、「水の惑星」「海」を感じさせる色温度 6500K のフィリップスブランド LED フラッドライト、4,000lm クラスを採用。照明設計は、

主に 2 つの役割を設定し、ひとつは、下方から上方に向けてガラス面を内側から照射することで空の広場にガラスドームそのものを浮かび上がらせる景観照明としての配置、もうひとつは、建物内部の円形窓からスリット越しに白色のパネルを照射し、間接照明としてドーム内の床面に明るさを確保する配置としています。また、ドーム内のパネルは外部にも反射光を届け、光り輝くエントランスとしての存在感も演出しています。

空の広場 ガラスドーム

① LED フラッドライトでドーム内側を上方へと照射し美しい景観を演出。



① LEDフラッドライト



円形窓
スリットの奥に① LED フラッドライトを配置。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
アッパーライト パネル照明	① LEDフラッドライト (フィリップスブランド) 300W形チョークレス水銀ランプ器具相当	BVP135LED40CWL1800	48	消費電力：50W